

# 日本大学三島高等学校 同窓会会報 第38号



「感謝、  
ありがとう」

会長 今井 信之

第1期生 (沼津市在住)

今年、アメリカではオバマ大統領が誕生しました。アメリカのみならず世界の政治や経済に新たな変化を起こすものと、たいへん期待しています。日本では経済状況が悪化。昨年起った、世界同時不況の影響を受けて苦しんでいますが、この新しく変化を求める時代とともに落ち着いた時が来るこことを切に願っております。誠にたいへんな時期に入りましたが、いかがお過ごしでしょうか。同窓会会員の皆様方におかれましては、各方面で活躍のことと思います。

ところで、母校日本大学三島高等学校は創設50周年を迎え、さまざまな記念事業が企画され、実施されました。ここに思いおこすと、私たち第1期生が入学した時は生徒数が304名。クラスはA組からE組までの5クラス。先生は校長・教頭、5クラスの担任と白井先生の合計8名で、そこに若干名の大学の先生方が加わり産声を上げました。当時、校舎は木造。体育館も木造、大講堂もといった具合で、すべての建物が木造でほとんどが旧陸軍の施設でした。その後、コンクリート校舎が建てられましたが、その校舎もここ1・2年位で取り壊され、新しい耐震校舎に建て替わります。第1期工事は今年9月頃に終了が予定されています。その後、道路沿いの5号館を壊し、第2期工事に入ります。なお、同窓会では母校に新校舎建設資金の費用の一部として、1億円を寄付することを決定し、贈呈しました。完成する新校舎には同窓会室もできますので、一度ご来校下さい。

平成20年度に行われた母校創設50周年記念行事には、同窓会もその趣旨に賛同し共催・協賛してきました。5月にはウォーターポーイズ公演を母校50mプールで在校生や近隣の方々と楽しみました。10月には仙台フィルハーモニー管弦楽団の公演を三島ゆうゆうホールで午前と午後の2回実施し、在校生を

中心に一般公募の人たちとフル管弦楽を聴きました。さらに11月には同窓生の船越英一郎(19期生)さんのトークショーが「悪くても感謝」と題して行われ、学生生活の事、サスペンスの事、テレビの話など楽しい時を過す事ができました。このような行事を成功させるには、地域住民の人たちのご理解やご協力を始め、多くの方の協力で成り立っています。また先生方の日ごろからの生徒に対する愛情、そして日本大学三島高等学校に送り出してくださったご両親・ご家族の愛情があることも忘れてはいけません。これからも感謝をすることを忘れずに、常に何をしてもありがとうの心を持って生活して下さい。

同窓会の活動状況としては、現在、日本大学三島高等学校同窓会のホームページを立ち上げる準備を進めています。また10支部(小田原・熱海・御殿場・裾野・三島・田方・沼津・富士・富士宮・静岡)に分かれて活動も行っています。支部によっていろいろと特長を持った活動を行っています。ぜひ活動に参加して見て下さい。新しい仲間があなたを待っています。

今後も同窓会会員の皆様には同窓会活動にご理解いただき、ぜひ活動にご参加いただきますようお願いいたします。また同窓会は設立50周年を迎えます。同窓会としての記念行事を予定していますので、皆様のご協力をお願ひいたします。

最後になりましたが、これからも母校の発展を祈り、会員皆様のご多幸を祈念するとともに、同窓会に対するますますのご支援をお願いいたします。



来賓としてあいさつする佐藤三武朗先生



第49期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。632名の皆さんには卒業証書を手にすると同時に、同窓会に入会されました。心より歓迎し、祝意を表します。本校の卒業生は4万9千人となりました。創設以来、日本大学の建学の精神に基づき、地域に開かれた付属高校の卒業生として巣立った同窓諸氏は、それぞれの役割を果たしながら、同窓会の基盤を固めてきました。首都圏とは異なり地方で活動するためには、地域社会にしっかりと根を張っていかなければなりません。こうして同窓生はお互いの交流を通して睦みあい競い合って成長してきました。

先輩がこれまで蓄えてきた経験と能力は若い会員にとって貴重な財産です。後輩の皆さんは先輩の持っている魅力的な引き出しから豊富な知識を大いに吸収して欲しいと思います。

本年度、創設50周年を記念して3つのイベントを計画しましたところ、同窓会会长をはじめ役員・幹事の皆さまの全面的な協力で実現し、大成功のうちに終了いたしました。

## 同窓会総会

平成20年10月17日(金)  
於 三島プラザホテル

同窓会総会を平成20年10月17日(金)に三島プラザホテルにて開催しました。来賓には日本大学国際関係学部長佐藤三武朗先生、母校校長高桑豊先生をお招きしての会となりました。総会では役員改選が行われ、新会長に今井信之氏を選出しました。また同窓生で北京オリンピックに出場し入賞した高桑健選手(下写真・壮行会風景)に、その活躍を評価して同窓会より奨励金を授与しました。懇親会は、新会長のあいさつに始まり、和やかに進みました。



した。おかげさまで生徒、保護者、教職員、同窓会が一体となり、5月桜陵祭最終日にウォーターポーイズショード、芸術の秋10月には「仙台フィルハーモニー管弦楽団」の公演、11月には保護者、同窓生を対象にして、本学の同窓である船越英一郎君の「トークショー」を楽しみました。同窓会会員の皆様には心より感謝いたします。

なお、念願であった新校舎も4月に着工し、平成21年9月竣工に向けて1期工事が建設中です。大勢の同窓生のご支援とご芳志により、学習環境が整備されます。同窓会という組織が、先輩の汗と努力の結晶であることに感謝の気持ちを忘れず、先輩たちが築かれた歴史をさらに発展させ、保護者や地域在住の同窓生の声を学校運営に反映させたいと考えております。同窓生の皆様が日本大学三島高等学校・中学校の卒業生であることを心から誇りに思っていただけるような学校づくりに努力いたします。

平成20年度は本校にとって歴史を振り返ると同時に、未来に向かう節目の年がありました。中学校が開校して6年目、中高一貫6年間を終えた1期生が卒業する節目の年でもあります。学習のみに偏ることなく生徒会、部活動にも素晴らしい結果を残してくれました。

中高一貫生とその保護者に意識調査を実施しましたところ、本校生の愛校心は強く、居心地がよいという日大三島に対するロイヤリティー指数が高数値を示しました。しかし、学習に対する成長実感が少ないと感じている生徒が多いことも分かりました。したがって、今後ともさらに実効性を伴った、心身ともに生徒が輝く学校を目指してまいります。そして、7年目となる一貫教育をさらに発展させるためにも、学力の伸張を期して教職員一同、一丸となって教育に取り組んでいきます。

## 同窓会入会式

平成21年2月14日(土)  
於 母校8号館講堂

### ●記念講演

講 師：関口 伸氏(フリーアナウンサー、本校第18期生)  
テーマ「言葉と文化」

同窓会入会式が、平成21年2月14日(土)に母校8号館講堂にて行い、今年は第49期生632名を迎えるました。入会式では同窓会長による新入会員への歓迎のあいさつや、同窓会規約に基づく奨学金を一宮亜沙子さん、鶴谷勇気さんの2名に渡すなど、式典を実施しました。第2部では本校第18期の卒業生でもあり、現在フリーアナウンサーやナレーターなどマスコミ界で活躍する関口伸氏を招き、「言葉と文化」のタイトルで記念講演が行われました。





## 新入会員の言葉

## 思　い　出

生徒会長  
鈴木秀紀

日を追うごとに暖かさが増し、春の訪れを感じられるようになりました。卒業すると同時に、私たち第49期生は、日本大学三島高等学校同窓会に入会いたします。今、この学校があるのは、多くの先輩方による努力のお陰であり、そのような歴史ある学校の卒業生として関わりが持てることにたいへん誇りを感じております。

日本大学三島高等学校で過ごした3年間を振り返ると時の経過の早さを実感します。日々生活している中で、誰もが今までの出来事を思い出すことがあるでしょう。自分の過去を思い出すことは簡単にできます。しかし、この3年間の高校生活の中には多くの思い出が詰まり、その全てを振り返ることは難しいでしょう。いつまでもこの高校生活を忘れられない思い出として残して欲しいと思います。



## 第49期生 幹事一覧

代表幹事 鈴木 秀紀(12組)

## クラス幹事

1組 落合 翔大	10組 野々村拓郎
2組 渡辺 秀	11組 伊藤 大揮
3組 道場 賢登	12組 江本和香奈
4組 小泉 直人	13組 福家 瑛貴
5組 宮本 千尋	14組 山本 雄登
6組 横村 貴美	15組 遠藤 貴子
7組 鈴木 章洋	16組 前田 啓匠
8組 佐野 泰史	17組 米山 浩義
9組 河野 聰	18組 御嶽まさの



## 新入会員を迎える

## 「高校時代の宝物」

第38期生  
伊藤 将

本校を卒業してから早10年が過ぎました。「教員になりたい」という幼い頃からの夢を叶え、今回、初めて卒業生を送り出すことができました。相変わらず諸先生方のアドバイスやご指導を受けていた私が、後輩となる皆さんにどのような言葉を送ればよいのか、悩みました。そしてその答えを自分の卒業アルバムに求めたのです。

誰が書いたのか今では分からぬのですが、卒業アルバムの表紙の裏に「高校時代の友人は一生の仲間。俺とお前も死ぬまで友達だぞ!」と書いてありました。本当に嬉しい言葉であると共に、私の高校時代そのものを表す言葉であると感じました。そのアルバムの最後には、28歳を記念して同窓会を開いた時の写真が挟まれていました。皆、立場は変わっていましたが、仲間であること、そして共に笑える時間を共有できたことは、どちらの写真も変わっていません。高校時代に見つけた私の宝物、それは勉強で得た知識でもなければ、良い成績でもありません。仲間こそ宝物なのだと、今では胸を張って言えます。

49期生の皆さんはこれから新たな世界への扉を開き、歩んでいくと思います。その道のりの中には、一人ではどうしても開けられない「重く、辛い扉」と直面するはずです。その時はぜひ、皆さんの宝物である友人たちとの協力の力を思い出してください。どんなに重い扉でも、仲間と協力すれば、きっと開くと思います。

「よい仲間がいる。」これを自信に、皆さんの活躍の場を広げていってください。

## 同窓会役員一覧

役職	氏名	支部長	氏名
会長	今井 信之(1期)	三島	渡辺 昌宏(11期)
副会長	渡辺 博夫(2期)	沼津	高木 淑夫(2期)
//	川口 功一(3期)	田方	内田 敏明(3期)
//	藤幡 俊量(11期)	裾野	真田 正義(1期)
副会長・女子部会長	石橋 倍子(4期)	御殿場	高杉 忠(1期)
幹事長	滝口 文昭(6期)	富士	日置 信弘(3期)
副幹事長	庄司 一洋(7期)	富士宮	秋山 一雅(3期)
//	山本 弥之(4期)	静岡	石川 良次(8期)
//	三浦 正康(9期)	熱海	谷口 俊司(2期)
会計監査	永井 嘉大(2期)	小田原	川口 功一(3期)
//	柳田 和夫(10期)		

## 母校創設50周年記念行事報告

日本大学三島高等学校は昭和33年に創設され、50年を迎えました。その記念事業の一環として、平成20年度に3つの記念行事が行われました。同窓会はその趣旨に賛同し、記念行事に協賛・共催しました。

### (1) 平成20年5月18日(日) ウォーターボーイズ公演(同窓会協賛)

後援を三島市・三島市教育委員会からいただき、母校プールにて開催しました。全3回の公演に在校生・教職員に加え、同窓生や近隣中学生など多くの人たちを招き、実施しました。当日は、水泳部の生徒も公演に参加するなど、大いに盛り上がりいました。



### (2) 平成20年10月3日(金) 仙台フィルハーモニー管弦楽団公演(同窓会共催)

後援を三島市・三島市教育委員会からいただき、三島市ゆうゆうホール(大ホール)にて開催しました。在校生や教職員、同窓生、一般の方を対象に全2回公演を実施。楽団で演奏する本校卒業生の紹介に始まり、指揮者に挑戦する生徒や最後の曲では放送部の生徒が参加するなど場内と一体となった公演に感動の1日となりました。なお、同窓会では平成19年度の予算の中から650万円支出しました。



### (3) 平成20年11月12日(水) 船越英一郎トークショー(同窓会共催)

同窓生(19期)でもある船越英一郎氏を招き、後援を三島市・三島市教育委員会からいただき、三島市ゆうゆうホール(大ホール)にて開催しました。同窓生、保護者、一般の方々を対象に実施。タイトルは「悪くても感謝」。自身の高校生のころの様子やテレビの話、サスペンスのことなどの話題にくぎ付けとなり、有意義な時間となりました。なお、同窓会では平成20年度の予算の中から248万円支出しました。



## 平成20年度 事業報告

### 1. 総会 平成20年10月17日 三島プラザホテル

- (1) 会長挨拶 同窓会会长 久保田光氏
- (2) 来賓挨拶 日本大学国際関係学部長 佐藤三武朗先生  
日本大学三島高等学校・中学校校長 高桑 豊先生
- (3) 議事(事業報告・決算報告・役員改選・事業計画・予算案)
- (4) 懇親会(アトラクション)

### 2. 幹事会・役員会

- (1) 平成20年5月13日 リーベ 三役会  
役員改選・寄付金資料検討
- (2) 平成20年5月23日 母校大会議室 本部顧問・役員・幹事会  
母校創設50周年記念行事検討委員会
- (3) 平成20年6月6日 リーベ 同窓会誌編集委員会  
原稿依頼検討部会
- (4) 平成20年6月17日 母校大会議室 本部顧問・役員・幹事会  
母校創設50周年記念事業検討委員会・同窓会誌編集委員会
- (5) 平成20年9月16日 母校大会議室 本部顧問・役員・幹事会  
総会・役員・母校創設50周年記念事業検討委員会
- (6) 平成20年12月16日 母校校長室 三役会  
同窓会入会式・会報発行・事業計画・設立50周年記念行事等
- (7) 平成21年1月30日 高田屋 本部顧問・役員・幹事会  
同窓会入会式・会報発行・事業計画・設立50周年記念行事等

### 3. 事業

- (1) 平成20年5月18日 母校プール  
創設50周年記念事業 ウォーターボーイズ公演(3回公演)
- (2) 平成20年10月3日 三島市ゆうゆうホール  
創設50周年記念事業  
仙台フィルハーモニー管弦楽団公演(午前の部・午後の部)
- (3) 平成20年11月12日 三島市ゆうゆうホール  
創設50周年記念事業 船越英一郎トークショー
- (4) 平成21年2月14日 母校8号館3階  
①第49期生同窓会入会式(632名入会)  
奨学金 一宮亜沙子 鶴谷勇気  
②記念講演会 講師:関口伸(フリーアナウンサー、本校第18期生)  
テーマ「言葉と文化」
- (5) 平成21年2月28日 同窓会会報発行 第38号

### 4. 支部

- (1) 三島支部 総会 平成20年5月30日 三島グランドホテル
- (2) 沼津支部 総会 平成20年7月4日 沼津キャッスルホテル
- (3) 褐野支部 総会 平成20年6月22日 割烹旅館勢力  
平成20年7月 高桑健氏応援ボスター作成  
(北京オリンピック出場)
- (4) 御殿場支部 総会 平成20年9月19日 御殿場館
- (5) 富士支部 総会 平成20年4月26日 ロゼシアター  
親睦ゴルフ大会 平成20年5月25日  
納涼会 平成20年8月
- (6) 静岡支部 総会 平成20年5月16日  
親睦ゴルフ大会 平成20年5月25日  
旅行会 秋の一泊例会 平成20年9月20日
- (7) 小田原支部 総会 平成20年11月29日 湯本富士屋ホテル
- (8) 田方支部 総会 平成21年2月14日 伊豆洋らんパーク

### 5. 女子部会・各期会

- (1) 女子部会 平成20年3月8日 レストランさら  
平成20年5月17日 母校桜陵祭参加
- (2) 1期生 親睦ゴルフ大会 全4回  
(平成19年10月、12月、平成20年4月、10月)

## ご定年によって退職される先生方



永井 旭先生



三田村 怖先生



杉山 洋三先生

- 奉職年月日：昭和42年4月1日
- ご退職年月日：平成20年4月16日
- 教科：英語
- 主な校務：生徒会指導・教務・進路指導
- 趣味：読書
- 部活動の顧問：珠算・写真・吹奏楽

- 奉職年月日：昭和41年4月1日
- ご退職年月日：平成20年7月30日
- 教科：数学
- 主な校務：生徒会指導
- 趣味：テニス・釣り
- 部活動の顧問：テニス・ゴルフ

- 奉職年月日：昭和41年4月1日
- ご退職年月日：平成20年8月9日
- 教科：数学
- 主な校務：教務
- 趣味：釣り・ハイキング・植木
- 部活動の顧問：数学・合唱



矢矧 俊章先生



横井 重行先生



野村 俊一郎先生

- 奉職年月日：昭和41年4月1日
- ご退職年月日：平成20年8月15日
- 教科：数学
- 主な校務：教務・生徒会指導・進路指導
- 趣味：散策
- 部活動の顧問：新聞

- 奉職年月日：昭和41年4月1日
- ご退職年月日：平成20年8月17日
- 教科：保健体育
- 主な校務：生活指導・保健衛生・生徒会指導
- 趣味：スポーツ観戦
- 部活動の顧問：水泳・陸上競技・女子ハーボール

- 奉職年月日：昭和46年4月1日
- ご退職年月日：平成21年2月8日
- 教科：国語
- 主な校務：教務・広報・生活指導
- 趣味：読書・映画鑑賞・絵画鑑賞・書道
- 部活動の顧問：文芸・射撃

永井旭先生は、進路指導主任や学年主任を務めました。平成17年からは中学校教頭に就任し、中学校発展のためにご尽力されました。

三田村怖先生は、工業科、数学科の教師として活躍されました。部活動ではゴルフ部顧問としてその立ち上げにご尽力されました。

杉山洋三先生は、数学科主任、校務では長年、教務を担当し、活躍されました。

矢矧俊章先生は、教務主任や学年主任を務め、常に本校活動の中心にいて活躍されました。

横井重行先生は、水泳部顧問として、2名のオリンピック選手を輩出するなど指導者としても活躍されました。

野村俊一郎先生は、国語科主任、学年主任、広報主任を務め、本校の運営の中心で活躍されました。

校長の高桑豊先生は、定年を迎えられ、3月31日付をもって退職されます。

先生方の今後のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。



高等学校教頭に  
橋都哲磁先生が就任



平成20年4月1日付をもって、日本大学習志野高等学校より転任された橋都哲磁先生が就任しました。担当教科は数学です。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。



中学校教頭に  
仁藤芳治先生が就任



平成20年4月1日付をもって、仁藤芳治先生が就任しました。先生は長年、本校教諭として勤められ、教科は国語を担当されてきました。現在、中学校では道徳を担当しています。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。

### お知らせ

- ・江川洋先生（国語）が、平成20年3月31日付をもって、退職されました。
- ・作山隆教頭先生（英語）は、平成20年4月1日付をもって、日本大学櫻丘高等学校校長に転出されました。
- ・高等学校第10代校長、中学校第2代校長高桑豊先生は、平成21年3月31日付をもって、定年により退職されます。

# 新校舎建設に向けて

—母校日本大学三島高等学校よりお願ひ—

日本大学三島高等学校では、創設50周年を契機に老朽化した校舎をすべて一新し、最新設備を整えた新校舎建設を進めています。この事業は大規模かつ重要事業であるため、実現のために教職員一致協力していますが、多額の資金を必要とし、同窓生の皆様をはじめ、関係各位の格別の御援助を仰がなければ実現困難な実情にあります。つきましては、皆様方の任意の御芳志により、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。本校の新校舎建設資金を目的とした募金にご賛同いただける方は下記までご連絡ください。



- 事業総額 52億7,000万円
- 募金目標額 3億円
- 募金額 一口1万円  
(なるべく三口以上の御協力ををお願いいたします)

#### 寄付金に関するお問い合わせ先

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号

日本大学三島高等学校創設50周年記念事業係

TEL 055(988)3500(高校事務課) FAX 055(988)3517

## 新校舎建設資金贈呈報告

同窓会では、母校の創設50周年記念事業である新校舎建設に対する寄付金をどのように行うか、具体的に検討をしてまいりました。

経過を申し上げますと、同窓会規約第1章総則第4条、第5条には、母校の発展興隆に寄与することを目的とし、会員相互の親睦と融和をはかるための各種行事の実施の他、母校の各種行事への協力・参加、目的達成のために必要な諸事業を行うことを謳っています。新校舎建設はこの項目に該当すると判断しました。よって、校舎新築寄付金検討委員会を設置し、同窓会の運営状況などの資料を集め分析しました。その後、平成20年度予算として、同窓会本部顧問、役員、幹事会、総会で慎重なる審議を経て決議され、1億円を母校日本大学三島高等学校へ建設資金の一部として寄付することを決定いたしました。

元来、高校卒業時に終身会費として同窓会費を納めていただき、同窓生の皆様の貴重な净资产を有効かつ大切に利用しようという考え方から、同窓会館建設を目標に経常運営費の余剰金を貯蓄してまいりました。しかし、同窓会館の建設を実行するためには、様々な困難が予想されます。今回、母校の新校舎建設にあたり、学校側から同窓会の目標を察していただき、校舎内に同窓会室を併設し、同時に会議室を同窓会の必要に応じて使用することができるよう提案がされ、実現することとなりました。全国の高校の中で、校舎内に独自の同窓会室を持つことは非常に稀なケースであります。まさに母校、同窓会ともに共存発展の礎となる証であると考えています。

なお、同窓会総会において、母校の高桑豊校長に新校舎建設のため、同窓会

より1億円を寄付することを伝え、寄付金目録を贈呈しました。また平成21年2月14日(土)に行われた平成20年度同窓会入会式(49期生)の中で、日本大学三島高等学校より同窓会に対して感謝状が贈られました。



校長より感謝状が贈られる

#### 母校創設50周年記念誌及び 同窓会記念誌の刊行について

母校では、新校舎第1期工事の完成とともに、平成21年10月に創設50周年記念式典を開催します。これに伴い、日本大学三島高等学校創設50周年記念誌刊行(平成21年9月を予定)の準備を進めています。同窓会では、母校高桑豊校長にご配慮いただき、同時に同窓会記念誌として合本できることとなりました。現在、同窓会誌編集委員会を中心に編集作業が進められています。なお、頒布方法については検討中です。

#### 同窓会名簿の整備と管理について

同窓会では、現在、事務局が名簿の管理を行い、会員名簿の整備に取り組んでおります。住所が判明している会員の方々には、毎年、同窓会報・母校校報等を送付しております。その際、多くの方の未確認者がおりますので、情報をいただければ幸いです。友人・先輩・職場等において、日本大学三島高等学校を卒業された方で、会報等が届いていない方がおりましたら、お手数ですが、事務局(担当 木下)までご一報下さるようお願いいたします。

※『人事新報社』という会社より日本大学三島高等学校卒業生に対して『同窓名鑑』の発刊に関する葉書(往復はがき)が送付されてきました。名簿の管理は、同窓会事務局で一括して行っております。日本大学三島高等学校及び同窓会から『人事新報社』への委託は行っておりませんので、くれぐれもご注意下さい。

## 日本大学三島高等学校 同窓会会報 第38号

平成21年2月28日発行

発行者：今井信之 編集：事務局

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号

TEL 055(988)3500(高校事務課) FAX 055(988)3517